

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域リハビリ推進事業	会計	一般会計	事業No.	112	施策順No.	34-016
		事業種別	政策・その他	予算科目	3-1-3-17-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	福祉課		
施策	34 障害者福祉の推進			事業期間	開始	2	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	1 在宅及び施設の身体障害児・身体障害者 2 保育・幼稚園児や修園前で発達に支援が必要な子供 3 在宅及び施設の要介護者要支援認定者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	1 障害や要介護の状態になっても、機能の回復、維持をして健康で人間らしい生活を取り戻す 2 育てにくさや発達のつまずきを改善し健康で良好な発達を促す							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		リハビリ相談、療育相談等を対象となる在宅の身体障害児者数(人)		710	750	800	850		
		要介護者要支援認定者数5,639(H19/9/1現在)+1、2級の身体障害者数272(統計より在宅者数を推計(人))		5911	6000	6100	6384		
		地域リハビリテーション支援を受けた在宅及び施設の発達障害児+身体障害児者+要介護要支援認定者数の延べ数	2277	3061	3598	3000	3500	3100	A
		意図を達成するために地域リハビリテーション力を向上させる講習会等の参加者数	998	1730	1899	1700	2091	2000	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	引き続き、介護力向上や身体機能、心理・精神面、社会性向上等の質を高める地域リハビリテーション支援を行った。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	0歳から高齢者まで、安心して健康で人間らしい在宅・施設生活を送るために、身体機能にとどまらず、精神面・環境面も含めた総合的リハビリテーション支援を行う。 介護を受ける状態になっても、自立しQOL(生活の質)を高めるための身体、精神、環境を含めた総合的リハビリテーション支援を行う。 障害者及び家族、市民の希望に沿って、より適切な充実した地域(家庭・保育園・養護学校・入所・通所施設など)でのリハビリテーション支援を提供する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 地域リハビリテーション事業 (1)居宅や施設におけるリハビリテーション指導 (2)介護予防者等の評価・指導 (3)介助法の指導 (4)住宅改修・補装具相談ほか 2 早期発見、早期療育相談事業 発達健診等リハビリテーション指導及び療育相談 療育センターひまわり、保育園、小学校 3 ノーマライゼーション推進事業 (1)地域リハビリ力向上のためのリハビリテーション講習会 (2)発達障害を地域で支える研修会 (3)子育ての講演会の開催	1 事業回数(延べ人数) 2 事業回数(延べ人数) 3 講座(延べ人数)	1 5,138人 2 2,860人 3 2,091人
23年度実施計画	1 地域リハビリテーション事業 (1)居宅や施設におけるリハビリテーション指導 (2)介護予防者等の評価・指導 (3)介助法の指導 (4)住宅改修・補装具相談ほか 2 早期発見、早期療育相談事業 発達健診等リハビリテーション指導及び療育相談 療育センターひまわり、保育園、小学校 3 ノーマライゼーション推進事業 (1)地域リハビリ力向上のためのリハビリテーション講習会 (2)発達障害を地域で支える研修会 (3)子育ての講演会の開催	1 事業延べ人数 2 事業延べ人数 3 講座延べ人数	1 5200人 2 2900人 3 200人

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(そ) 諸収入
		県支出金					
		起債					
		その他	576	354	687		
		一般財源					
		計(A)	576	354	687		
		正規職員所要時間					
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)		0			
		トータルコスト A+B		354			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	安心して健康で良好な日常生活が送れる	施策の成果指標又はムトス指標	安心して地域で日常生活が送れる割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのような貢献しましたか	4年間の振り返り	障害児・者ご家族、施設スタッフ、地域スタッフや発達のある子と子育てに戸惑いを感じている子育て支援対象者に地域リハビリテーション支援を通じて環境面を始め介護力向上や身体機能、心理・精神面、社会性向上等の質を高める為の地域力向上の足がかりが出来た。 地域力向上につながった。		
	後期に向けた課題	地域力向上の実際を実感してもらいながら、更にレベルの向上を目指す。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	原因や改善、向上のメカニズムをわかり易くするための研究をして良い情報を提供した。提供する対象者が意欲的に取り組める為の方法を提案しながら意識の改革を優先させて自発的な取り組みが出来る土台作りに入れた。		
	後期に向けた課題	地域の取り組みは変化しているが、良い変化を気づけないので、更に意識向上するために改善点を気づかせながら質を高める。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	コストは掛かっていないので特にしていない。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	派遣費用は提供内容としては安価と思われる。		
	後期に向けた課題	地域リハビリテーションとしての提供内容を高めているので改善したい。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①②;行政(地域リハビリテーション担当)主体で地域力向上してQOL向上、脳機能向上がなされ健康で良好な生活が送れるようになった。		
	後期に向けた課題	自発的に地域力の質が上がるような取り組みをしていく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地域リハビリテーションの関わりから地域の意識に大きな変化が見られる様な啓蒙が出来た。その結果として地域力の質が上がった。		
	後期に向けた課題	地域力を高める為の意識の変化を更に質の高いものにして、対象者が安心して健康で良好な日常生活が送れるような情報提供と支援をしていく。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------